

第5回「ハイ・サービス日本300選」受賞企業・団体発表について
～3月16日(月) SPRINGシンポジウムで表彰式・300選クラブ発足式を開催～

【第5回として31事例を選定】

サービス産業生産性協議会では、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み(ベストプラクティス)の表彰・公表を通じ、企業の一層の取り組みを喚起し優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上に努めるために「ハイ・サービス日本300選」を実施しています。このたび、**第5回表彰として31の企業・団体を別紙の通り決定**しました。いずれの企業・団体もチャレンジ精神を持ち、創意と工夫でイノベーションと生産性向上を実現しています。

これらの取組をご紹介する機会として、**3月16日(月) 11:20**より、東京ステーションコンファレンスにおいて開催のSPRINGシンポジウム2009内で表彰式を開催いたします。また、受賞者の交流の場である300選クラブ(発起人:良品計画 代表取締役会長 松井 忠三氏) 記念ランチョンもあわせて開催します。是非とも取材にお越しく下さい。

-プレゼンター(予定)-

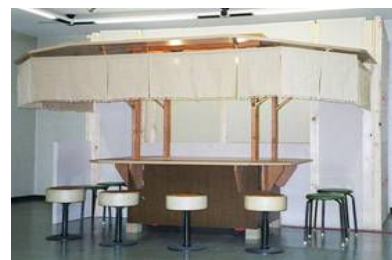
〈代表幹事〉 牛尾 治朗 牛尾電機(株)代表取締役会長 〈委員長〉 村上 輝康 (株)野村総合研究所シニア・フェロー
〈委員〉 伊藤 元重 東京大学大学院教授 / 河野 栄子 DIC(株)社外取締役
小林英俊 (財)日本交通公社常務理事 / 野原佐和子 イブシ・マーケティング研究所代表取締役社長
橋本 和仁 東京大学大学院教授 / 藤川 佳則 一橋大学大学院准教授 / 藤沢 久美 ソフィアバンク副代表

受賞事例① 株式会社ジャステック

・人月計算によらない評価基準と高い技術力で独立系ベンダーの地位を確立
同社は、業界の主流である「派遣型」や「委任型」の契約方式ではなく、開発したシステムに対して責任を持つ「一括請負型」でソフトウェア製品を提供。従来、発注者と受注者の双方に蔓延していた開発業務の不透明な評価(人月計算)によらない、独自の評価基準をベースに高い技術力で事業を展開。

受賞事例② 北の起業広場協同組合「北の屋台」

・街の中心に賑わいを呼び戻したオリジナルな屋台づくり
「屋台」を中心にした街づくりを目指し、従来の屋台とは大きく異なり、冬の厳しい寒さを厨房の調理熱を循環させることで客席の暖房効率を向上させ、固定式の厨房に上下水道、電気、ガスを完備することで調理品目の拡大など可能にして、高い集客力や売上げを実現。



添付資料

1. 「ハイ・サービス日本300選」について
2. 「ハイ・サービス日本300選」第5回受賞企業・団体
3. 「ハイ・サービス日本300選」第5回受賞企業・団体プロフィール

※サービス産業生産性協議会(代表幹事:牛尾治朗・ウシオ電機(株)代表取締役会長)は、サービス産業のイノベーションや生産性向上に向けた国民運動を展開する母体として、産業界、大学関係者、関係省庁などの幅広い参加のもと、平成19年5月10日に設立されました。

【お問合せ先】 サービス産業生産性協議会事務局(担当:下村、与野、末吉)

〒105-0004 東京都港区新橋1-19-15 佐伯ビル3F(社会経済生産性本部内)

Tel03(5251)3841 Fax03(3593)8450 ホームページ www.service-js.jp mail:M.Shimomura@jpc-sed.or.jp